



福岡市議会議員

今日も! 田中しんすけの 胸を張って、元気よく!!

◆ 福岡市政ドキュメント ◆ 第9号 2009年夏号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ
(民主・市民クラブ)
〒810-0014 福岡市中央区平尾2-15-20 2F
TEL: 092-521-3650 FAX: 092-521-5221
URL: <http://www.tanakashinsuke.jp>
E-mail: info@tanakashinsuke.jp

アジアの 魅力都市・福岡 を目指して

2010年市長選
2011年市議選

マニフェスト作成プロジェクトを開始!!

田中しんすけは、2009年度の会派プロジェクト『マニフェスト作成プロジェクト』の中心メンバーとして抜擢されました。世界規模で経済・社会状況の激しい変化が生じている中、「確固たる政策理念」を掲げると共に、福岡市の「目指すべき将来の姿」を展望するという非常に壮大なテーマに、2年間かけて取り組んでいきます!

私たちの 問題意識

わが国の経済・社会状況が混沌とする中、首長・自治体議会にとって重要な使命は、確固たる政策理念を持ち、市民が夢を持って生活していくために「目指すべき都市像」を明確に示すとともに、その都市像を実現する政策を確実に実行することだと考えます。そのためには「市民にとって最も大事な価値は何なのか?(理念)」「福岡市はどのような都市なのか?(現状分析)」を明確にし「多くの市民を巻き込んで推進(協働)」していくことが不可欠であるという結論に至りました。

philosophy 理念形成

今後の日本社会における大きな社会構造の変化潮流を捉え、福岡市が目指すべき「政策の方向性」を明確にするとともに、民主・市民クラブ独自の政策理念としてまとめます。

確固たる理念に基づき、政策提言を目指して

analysis 現状分析

福岡市の人口構造、産業構造を分析することにより、福岡市の強み・弱みを把握します。また、これまでの予算執行状況を検証し、事業の選択と集中の可能性を探ります。

福岡市の現状を踏まえた政策提言を目指して

partnership 協働

プロジェクトを進める上で重要なことは、「市民と共に考える」という姿勢だと思います。市民のみなさんに共感を頂けるような政策提言とするため、みなさんとの意見交換の場を多く設けます。

市民と共に描く「福岡市の未来像」

子ども達の声 を市政に!

子ども議会

—国内視察報告—
に関する調査報告@八王子市

Q1. 平成20年度に実施した「子ども議会」の内容を教えてください。

A1. 公募で選ばれた八王子市内に住む小中学生40人が、子ども独自の視点で八王子市のまちづくりについて提案を行いました。5月に市長や市議会議員の代表者と一緒に結団式を行い、6月には市についての事前学習会を3回程度実施しました。夏休み期間中には合宿を開催し、7つの委員会に分かれて提案内容をディスカッション。その成果を、市議会本会議場を使って発表しました。

Q2. 「子ども議会」を実施して、具体的な成果(効果)はありましたか?

A2. 子ども達自身が、「意見を言うためには、その裏づけや知識が必要」「話を聴くだけでなく、たくさんの人と議論をし、自分の考えや意見を高めていくことが大事」と実感できたことです。また、あるグループの提案により、実際に「子どものしあわせ課」という部署が八王子市役所に新設されたことも大きな成果の一つだと思います。



議場で発言する「子ども議員」



八王子市「子ども議会」調査を終えて

「子どもの意見を大切に」という姿勢を、政策として示した八王子市の「子ども議会」。市長をはじめとする行政と、共催した八王子市議会のこの取組みは、非常に素晴らしいものだと思います。また、子ども達の感想文を読んでみても、「市政や国政にも興味が広がった」「市の人たちが八王子を平和でよいまちになるよう、懸命に努力していることに気がついた」など、まちづくりや社会参加について学ぶ良い機会であったことが伺えます。このような、子ども達が「社会参加」という民主主義のプロセスを実践し、学ぶことができるような取組みは非常に重要であると実感しました。

ひら・ぐら

HIRAO・GRAZIE

第2号発行

U5-C5



田中しんすけも会員として活動する平尾商工連合会が、地域情報誌「ひら・ぐら」第2号を発行いたしました。

この「ひら・ぐら」第2号では、創刊号からもこだわりのあった「地域の生活情報」がさらに充実した内容になっています。

特に、平尾地域の防犯情報をまとめた「平尾校区安全・安心マップ」、小さなお子様を持つファミリー向けの「子育てお役立ち情報」を盛り込むことで、平尾に住む方々、平尾を訪れる方々にとって、平尾ライフがますます充実したものになる内容になっています。この「ひら・ぐら」第2号は、平尾商工連合会の会員店舗だけでなく、中央区役所や平尾公民館にも配置しています。見かけられた方は、手にとって実際にご覧になって下さい!

ひらぐら市場 開催決定!!

今年の秋、平尾でまた新しいイベントが開催されます。その名も「ひらぐら市場」。平尾商工連合会が中心となり、野菜、魚の産地直売、フリーマーケットやピアガーデン、玉子つかみ取りなど様々なイベントが盛りだくさん。また子ども太鼓やブラスバンド演奏がイベントに華を添えてくれます。子どもから大人まで1日中楽しめる「ひらぐら市場」へ是非遊びに来て下さい!!



ひらぐら市場

日時:10月3日(土) 10:00-20:00
会場:計量検査所広場(平尾駅前)
※フリーマーケット参加者募集!!

お問い合わせ

平尾商工連合会事務局
TEL:092-521-9751

近況報告 平尾特集

『山荘通り』の

歩道が広がる! 住民が安心して歩ける道を目指して!!

平成21年度から、『山荘通り(県道松原比恵線)』において、歩行者と車とを分離する「歩行者が安全に買い物を行うことのできる道路整備」が計画されています。

道路整備の計画は、平尾交差点から平和5丁目交差点までの延長1400mについて現況の幅員1.1mを1.6mに拡幅するとともに、バリアフリーの歩道を整備する予定です。

田中しんすけは、この山荘通りを「安全に歩ける」「安心して買い物ができる」魅力あふれる通りにするため、**地域のみなさんのご意見やアイデアを募集中**です。平尾に住む方々はもちろん、平尾を訪れる方々にとっても魅力あふれる『山荘通り』を実現できるよう、取り組んでいきます。



「ベンチを設置して欲しい」「街灯をたくさんつけて明るい通りにして欲しい」など、具体的なご意見・アイデアがある方は、**田中しんすけ市政相談所**までとどしお寄せ下さい!!

歩行者・自転車・車両の現在の通行状況



歩道拡幅後の歩車分離のイメージ(例:鳥飼梅林線)

地域活動

けごっ子守るっ隊

(警固校区)

—防犯/パトロール実施中!—

「けごっ子守るっ隊」は、警固校区の住民の方々を中心に結成される防犯パトロール組織です。毎月一度、自治協議会や消防団の方々と朝・昼・夜のそれぞれの時間帯で防犯パトロールを実施しています。

夜間のパトロールに参加すると、自転車の無灯火運転や、公園でバイクの違法駐輪が常態化している様子が目に付きます。警固校区では、パトロール中に発見した地域の課題をみんなで共有し、市役所や区役所に改善を促す活動を続けています。この活動は非常に効果的で、実際に区役所が違法駐輪の解消に向けて公園に車止めを設置するなど、守るっ隊の活動は住みよいまちづくりに大きく貢献しています。



田中しんすけ市政相談所

092-521-3650



お気軽に
ご連絡下さい!!



田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(31歳)

1991年	西島宮小学校	卒業	2004年	早稲田大学大学院	
1994年	西南学院中学校	卒業		政治学研究科修士課程	修了
1997年	筑紫丘高等学校	卒業	同年	アクセンチュア株式会社	入社
2001年	九州大学法学部	卒業	2007年	福岡市議会議員(1期)	

特定検診の受診率を高める取り組みを! 地球温暖化防止対策の徹底!

特定検診については、本市の受診率の低さを指摘。受診率の高い3都市の取り組みを紹介し、「日曜検診の実施」「一目で分かる工夫」をするよう要求。市長から「地域と医療機関と連携し、多様な広報で普及啓発に努める」と明確な答弁が返ってきました。

地球温暖化防止をはじめとする環境問題について、取り組みの状況と実績を追及。「目標達成は厳しい」という環境局長からの答弁に対して、「市自身の率先した取り組みの実施」が不十分と厳しく主張。市長から「推進本部の下、太陽光発電の設置など市自身が率先して実行する」「風レンズ風車や次世代自動車の導入に着手し、市民・事業者の自主的な行動へと広げていきたい」という答弁を得ました。

6/16 金出 公子(東区)
【一般質問】



外国人が市政に参加しやすい街へ。 消費生活センターの更なる機能アップを!

「本市で生活する外国人が、市政に参加・協力・貢献するには、『外国人代表者会議』を設置すべきである」と述べ、「市政アンケート調査に外国籍市民まで調査対象を拡大すべき」と要望。市長から「多文化共生懇話会の充実に努めるとともに、そこで提案された意見が市政に反映される仕組みについて検討する」と前向きな答弁を得ました。消費者行政に関して、「市民

の声こそが最も重要、いかに声を集め共有化し、有効活用していくかがカギ」と述べ、「消費者生活センターの更なる強化と充実に努める必要がある」と強く主張。市長からは「相談窓口の整備や相談員の専門性を高める研修機会の拡大など相談体制の充実に努める」という答弁を得ました。

6/17 太田 英二(城南区)
【一般質問】



6月議会 レポート

地下鉄七隈線の 増客対策に 大型集客施設の 配置を提案

「地下鉄七隈沿線は、地下鉄1・2号線と比べると、集客施設や公共施設が少ない」と述べ、「七隈線沿線の街づくりと、増客対策に取り組むべき」と強く主張。交通事業管理者から「はやかけんの利用促進や積極的なPRなどを行ない、増客に資するものとして、特に橋本駅の上部の有効活用を検討する」、市長から「利用者増には、沿線への機能集積が必要と示し、特に橋本駅周辺は、公共・民間の施設を問わず集客力のある施設を検討する」という答弁を得ました。特別支援教育の支援態勢について、「人間関係をより良くするためにも現在の2ヵ月雇用ではなく6ヵ月雇用を取り入れるなど、制度の整備構築を図るべき」と主張。教育長から「今年は支援員を大幅に増員、更に支援の充実へ検討を進める」と答弁を得ました。

6/18 江藤 博美(西区)
【一般質問】



アイランドシティを 福岡版グリーン ニューディールの 最先端環境 モデル都市に!

環境やエネルギー関連の公共投資を大々的に行い経済や雇用を回復し、同時に地球温暖化問題をも解決しようとする政策パッケージ、即ち「福岡版グリーンニューディール」をどのように推進されるか問う。副市長からグリーンニューディールの考え方は、環境対策、経済政策の両面から重要であるとともに、本市の方向性とも一致することから、積極的に取り組んでいきたいとの答弁を得た。そこで、アイランドシティにアジアの最先端環境モデル都市としてのコンセプトを提示し、先端環境投資を集中的に投下して、新しい街づくりを提案。市長から「低炭素型街づくりを進め、アジアを代表する最先端の環境モデル都市にしていきたい」との答弁を得ました。

6/17 山下 謙二(南区)
【一般質問】



論点解説

こども病院の基本的役割

現在の福岡市立こども病院は、**小児高度3次医療**(小児の高度で専門性の高い手術や診察・治療を行う医療)機関として日本有数の心臓外科手術の実績を有するなど、全国にも誇れる役割を果たしてきました。岡山以西の西日本に1か所の小児高度専門病院であり、北海道などからも心臓手術にこられます。

また、そのこども病院は**小児地域2次医療**(小児の街の医院では診られない専門性の高い診断や手術を行う医療)施設として地域の開業医の先生方や患者さんたちの信頼を得てきました。

◆小児高度3次医療を維持・発展させる新こども病院の決断 ~全市の小児地域2次医療バランスをも改善~

こども病院は、小児高度3次医療機関と小児地域2次医療施設の両方の役割を担っています。小児高度3次医療を担う全国の「こども病院」は、都心部から少々離れてもゆったりとした敷地に**良好な医療現場、療育環境を形成し、優秀な医師を確保して高度な医療水準を保障しよう**としています。そして、優秀な医師のもとに多くの若い意欲のある医師や看護師など医療従事者が集まり経営的にも良い影響を与えています。

(図1) 小児医療機関と小児救急施設等の分布図



(表1) 全国の子ども病院の施設規模と交通アクセスの比較表

病院名	病床数(床)	床あたり面積 (m ² /床)	敷地面積 (m ²)	都心部からの直線距離	車での時間
新こども病院	260	100	35,000	約8.1km	約18分
現こども病院	190	73	16,795	約2.8km	約9分
最近整備された5病院の平均値	255	110	53,443	約20.7km	約36分
長野県立こども病院	200	118	50,519	約46.5km	約67分
あいち小児保健医療総合センター	200	101	69,291	約20.3km	約43分
国立成育医療センター	500	130	75,504	約14.9km	約28分
宮城県立こども病院	160	115	41,162	約8.9km	約20分
北海道立子ども総合医療・療育センター	215	85	30,739	約13.1km	約21分

福岡のこども病院が今までの役割を維持し、機能を強化するためには、高度な医療を担える優秀な医師の確保が第一義です。そのための器となる良好な医療現場や療育環境の整備は不可欠な要素です。

そこで、都心部を含め本市全域について適地を真摯に検討・検証した結果(詳細は我が会派のホームページをご覧ください)、ゆったりした敷地を確保でき良好な医療現場や療育環境の形成の可能なアイランドシティがこども病院の基本的役割を維持し充実発展させるための適地と判断しました。(参照表1)

また、小児地域2次医療を担うこども病院の役割としては、本市の中心部から空白区の東区に移転することにより、全市的に見て小児地域2次医療の地域バランスを改善し、医療機能の充実を果たすこととなります。(参照図1)

◆新病院の建設で 小児救急医療と周産期母子医療の充実

現こども病院が担っている小児救急医療体制は、主に**小児2次救急医療**(入院治療を必要とする重症の小児救急医療)です。新病院では、内科的な**小児3次救急医療**(生命の危機に関わる疾患や複数の診療科領域にわたる治療が必要な重篤な疾患に対応する)体制の充実をはかることになっています。

また、新病院では、**周産期母子医療センター**(母体・胎児集中治療管理室と新生児集中治療管理室等が整備された病院)の機能を加えハイリスク分娩に対応します。

以上から福岡市全域での小児や母体の救命救急率は上昇し、今以上に母子の生命と健康を守れます。

2010年市長選
2011年市議選

マニフェスト作成プロジェクトが始動!

民主・市民クラブは、市長選・市議選に向けた「政策新機軸の提示」「2010年市長選・2011年市議選マニフェストづくり」を始動させました。世界的な都市間競争が激しくなる中で、確固たる政治理念を掲げ、福岡市の「目指すべき都市像」を提示するという大きなテーマに、2年間かけて取り組んでいきます。

重点政策提言プロジェクト全体スケジュール



- ① 市政検証・政策新機軸の提示**
市政の重点項目である「こども・環境・アジア」に加え、これからの市民生活や都市と産業のあり方など、福岡市政の新機軸を打ち出し、民主・市民クラブの政策理念としてまとめます。
- ② 2010年市長選・2011年市議選マニフェストづくり**
福岡市の経済・社会構造を分析することにより、福岡市の「強み」「弱み」や、福岡市の特徴・特性を把握します。併せて、会派独自の視点で、市長選・市議選のマニフェストを作成します。
- ③ 政策提言**
政策理念を実現するための具体的な政策を提言していきます。その際、市政分析の結果を踏まえ、福岡市にとって効果的な政策を「重点政策」として提示します。
- ④ 広報・広聴**
市民集会の開催や、議会通信による広報、アンケート等による広聴などの意見交換を通じて、市民のみならず共感して頂けるような政策提言を目指します。